

～地域と首都圏がつながる「場」が上野駅に誕生～ 地域を応援する！地産品ショップ『のもの』がオープン

株式会社ジェイアール東日本商事(本社:東京都渋谷区 / 代表取締役社長:齋藤卓夫)は、JR 東日本「地域再発見プロジェクト」と共に、東日本各地域の生産者や行政と連携した食を中心とした地産品ショップ『のもの』を2012年1月20日、JR上野駅にオープンいたします。

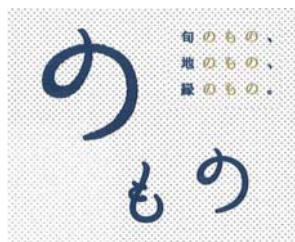
『のもの』では、旬のもの、地のもの、縁(ゆかり)のものといった、東日本の各地域の魅力的な商品を掘り起こし、地域と首都圏がつながる「場」を創造します。

【JR 東日本「地域再発見プロジェクト」とは】

地域との連携を強化し、地元と共に知恵を絞る「共創」戦略のもと、鉄道ネットワークの特性及び首都圏での販路を持つメリットを活かしながら、更なる地産商品の掘り起こしや伝統文化、祭り等観光資源の紹介といった地域活性化を進めているプロジェクトです。

【ショップコンセプト】

『のもの』は、作り手である生産者が商品と地域の魅力を伝えるショップです。新鮮な産直野菜や果物をはじめ、素材を厳選した調味料や加工品等を、地域ならではの食べ方と合わせてご提案します。また、商品の魅力だけでなく、地域のPRも行い、お客さまが地域に足を運ぶきっかけをつくっていきます。



『のもの』ロゴイメージ

『のもの』とは、

旬「のもの」、地「のもの」、縁「のもの」、海「のもの」、山「のもの」・・・
産地のおいしいものや、いいものをたくさん集め
地域「のもの」を編集した楽しいお店です。

【ショップの特徴】

■変化のある売場

各地域の商品を取扱い、定期的に過半の商品が入れ替わります。
第1回目は青森県にスポットを当て、食材を取り揃えます。

■「のものカフェ(仮称)」を展開

地場の食材を使用したメニューや地酒を提供する等、各地域ならではの味覚を気軽に堪能いただけます。

■生産者とお客さまとのコミュニケーションを実現

店舗では、地元の方々が商品に対する思いや地域の魅力等をお客さまに直接お伝えします。それにより地元の方々も、お客さまのニーズを収集し、今後の地域産品の開発や観光流動の促進につなげる事ができます。



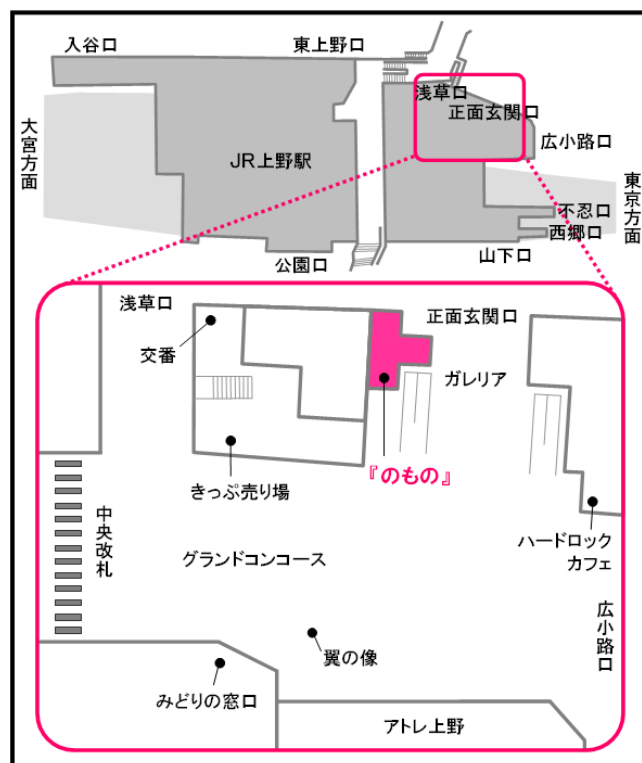
【店舗概要】

〔店舗名称〕 『のもの』

〔開業日〕 2012年1月20日(金)

〔場所〕 上野駅中央改札外
グランドコンコース(ガレリア内)

〔店舗面積〕 約 96.7 m² (約 29.3 坪)



【会社概要】

〔名称〕 株式会社ジェイアール東日本商事
〔本社住所〕 東京都渋谷区代々木2丁目2番2号
〔会社設立〕 1988年9月13日
〔資本金〕 5億6,000万円
〔代表者〕 齋藤 卓夫
〔事業内容〕 卸売業・小売業他

—店舗に関するお問い合わせ先—
株式会社ジェイアール東日本商事
担当:営業部 高橋・水野
TEL:03-6687-9829